



農〇連携事業
(農と福祉の連携推進事業)

社会福祉法人 若葉会

玉名市

異業種連携による 商品づくりのビジネスモデル

福祉施設利用者の仕事づくりやコミュニティ創出を図るため、玉名 LFC（県北地域で活動する多職種団体）の一員として、地産地食イベントの開催や加工品づくりに取り組んでいます。

活動の背景と目的

農村地域の担い手不足や休耕地増加等の社会的課題の解決を目的とした活動として、福祉施設と多分野の人材連携による持続的な農業の確立を目指しました。

「地産地食」をキーワードに付加価値の高い加工品開発、障がい者の仕事づくりと所得向上、生産～加工～流通の仕組みづくり、地域コミュニティづくりを目的に活動しています。

活動（事業）内容

農業で最高のフクシゴトを創る！

平成 30 年度

- 地元農家・関係団体等との連携体制の構築（玉名 LFC）及び「地産地食」の取り組み実践
- 自然栽培農家と連携した農業
- 障がい者の活躍の場の拡大や所得向上を図るための野菜の加工品づくり
- 販売イベント「オーダーナイトマルシェ」の開催

令和元年度

- 「地産地食」の取り組みによる独自性のある地域づくりの実践
- 自然栽培農家と連携した農業
- 障がい者の活躍の場の拡大や所得向上を図るための野菜の加工品づくり
- 販売イベント「地産地食ナイト」の実施

連携団体

玉名 LFC メンバー（自然栽培農家、地元農家、シェフ、デザイナー、企業経営者）、行政、学生 など

現在の活動と今後の展望

玉名 LFC の一員として、こだわりをもった商品（農産品・加工品）づくりにプライドを持って取り組んでいます。施設内に加工場を作ったことで、取り組みや作業の「見える化」にもつながりました。地域の中で自分が働いたことが、しっかり見えるような形をつくりたいと思っており、それが、結果的に労働賃金を上げていくことにつながると考えています。



野菜づくり



加工品づくり



販売イベント「地産地食ナイト」

【連絡先】 熊本県玉名市溝上字田代 527 番地 1
社会福祉法人 若葉会
TEL : 0968-74-1628

【情報発信サイト】
若葉会

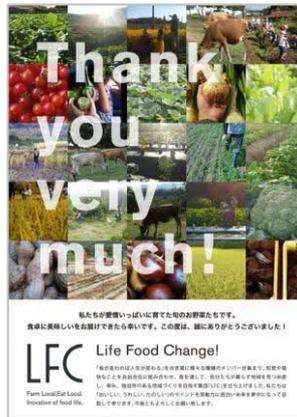


ポイント1 地産地食をテーマに集まった専門家グループとの連携

農業に着目し、障がい者の仕事を作るとともに農家、シェフ、デザイナー、販売業者等の専門家グループ（玉名LFC）を立ち上げ、「地産地食」をテーマとして地域を盛り上げようとしている。



玉名LFCメンバーとの話し合い



玉名LFCでの販売・イベント活動

ポイント2 クオリティーの高い加工品や農産物を目指す

農家が行いたいけれど余力がなくてできない加工品づくりに着目し、専門家グループで商品化を検討。クオリティーにこだわりをもった商品（農産品・加工品）づくりに取り組んでいる。



土づくりにもこだわった野菜の栽培



加工品開発のための試食会

ポイント3 施設移転を機に多品目の栽培や加工できる体制づくりに取り組む

施設の移転を機に、加工所の新設や、SDGsに配慮したプランター（サーキュラープランター）での作物栽培によるエコ農業等、活動の持続・発展と地域の活性化に向けた新たな活動に取り組んでいる。



サーキュラープランターづくり



地域の仲間と取り組むエコ農業



農〇連携事業
(農と福祉の連携推進事業)

社会福祉法人 誠心会

球磨郡 あさぎり町

カスミソウの栽培が 障がい者の可能性を育む

福祉施設利用者のスキルアップ、所得向上や心身の機能回復を図るため、花き栽培農家や地元JAと連携し、休耕地を活用したカスミソウ栽培に取り組んでいます。

活動の背景と目的

一般就労が難しい障がい者の方々へ農業という就労の場を提供することを目的としています。

耕作放棄地を活用したカスミソウ栽培に取り組むことで、土や花など自然とのふれあいによる心身の機能回復と、人吉球磨地域での当施設の取り組みとして誇りを持ち、働く喜びや生きがいを感じてもらうこと、障がい者の工賃のアップにつなげることを目指しています。

活動（事業）内容

障がい者の方々の働く喜びと心身の機能回復

平成 30 年度

- 耕作放棄地を活用、農家との連携によるカスミソウのハウス栽培
(圃場整備、畝づくり、定植など)
*ハウス 1 棟を増設し、栽培面積を 250 m²から 416 m²に拡大

- 収穫したカスミソウの販売（秋と春の2回）

令和元年度

- カスミソウのハウス栽培
- 障がい者の工賃アップに繋げるため、栽培面積の拡大に向けた準備作業
- 栽培技術の向上への取り組み

連携団体

花き栽培専門農家（地元、宇城市三角町）、JA くま
県南広域本部球磨地域振興局農業普及・振興課 など

現在の活動と今後の展望

栽培面積の拡大のため、ハウスを2棟増やす予定で準備を進めていましたが、令和2年頃からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大による花きの需要減少に伴い中断。状況をみて再開を予定しています。



定植作業



採花摘みの作業



収穫時期のカスミソウ

【連絡先】 熊本県球磨郡あさぎり町上西 688 番地
社会福祉法人 誠心会 「みずき園」
TEL : 0966-43-1688

【情報発信サイト】

HP: <https://mizukien.com/>

ポイント1 年間を通して栽培できるカスミソウに着目

施設利用者の新規事業として、休耕地を活用したカスミソウの栽培に取り組み、地元 JA の協力で福岡に出荷。カスミソウ栽培は施設利用者の喜びとなり、心身の機能的効果は高く、プライドを持って作業に取り組んでいる。



カスミソウの栽培ハウス



収穫したカスミソウ

ポイント2 専門家の協力が高い品質の花づくりに貢献

施設職員が花き農家（宇城市）で研修を受け、ハウスで現場指導を実施するなど、花づくりのノウハウを職員と施設利用者が共に学んでいった。様々な専門家の指導など、多方面の協力で高品質のカスミソウが出荷できている。



花き農家（宇城市三角町）での栽培研修



施設職員の支援を受けながらの選別作業

ポイント3 稼げる農業を目指して地元 JA などの協力体制を構築

稼げる農業～施設利用者の働く喜びと賃金アップ～を目指して、地元関係者の協力のもと出荷時期の見極めや品質の維持・管理などの工夫を続けている。また、休耕地を利用した栽培規模の拡大を検討している。



守っていききたい地域の農業景観



箱詰めしたカスミソウを JA へ出荷